

2014年(平成26年)
1月1日 第2号

西公カラハイ事業
豆記者部会 発行

NKM新聞

発行責任者
大西区 区長
仲本兼仁
Tel.0980 (52) 4630

豆記者募集中! 書記「宮城さとみ」まで連絡ください。
oonishi@pbh.city.nago.okinawa.jp

継ぐ(う)よ伝統工芸

時間が育てる瓦

職人の祖父に学ぶ

私の家と市役所に使われている瓦は、祖父でもある宮城祐成さん(大西区2班)が作った物です。この機会に瓦がどうやってつくられるか疑問だったので調べるのと同時に祖父のことも聞いてみました。調べてみると瓦は作るのにとっても時間がかかります。祖父が瓦職人になった理由も分かりました。瓦のこともっと知りたくまりました。(6班4組・宮城葉・小4)

祐成さんは16歳の時に「安全かわら工場」に入ったそうです。そこで祐成さんは先輩が作った「鬼瓦」を割ってしまいう出来事がありました。そのため休み時間を使って、自分で「鬼瓦」を作ったのがきっかけで瓦職人になったそうです。瓦には「平瓦」「棟瓦」「鬼瓦」の3種類があります。

瓦を作る時は、まずミキサーで材料をかくはんし、ハンドルで型を作って、ふるいで上からセメントをふって水を少しかけます。最後にセメント瓦の水切りをします。家の庭に池があったので、そこに瓦を入れると丈夫になるため、瓦は池に1日つけていたそうです。



瓦の作り方を紙に書いて説明する宮城祐成さん

翌日、水から出して庭に立てて並べ、1週間乾燥させていたそうです。インタビュを終えて思ったことは、一つ目に瓦を作るのにとっても時間がかかるということですね。初めて瓦の作り方を知ることができ、とてもうれしかったです。二つ目に瓦職人になるのにも

とても時間がかかるということですね。祖父が瓦職人になった理由も知ることができて本当にうれしかったです。次は瓦を作る工場にも行き、もっと瓦のことを調べてみたいです。

守る(う)僕らの文化

沖縄の伝統文化である三線がどのように作られるのか知りた

くて、名護市田井等の新城工作所で取材しました。取材して三

人を笑顔にする三線



三線に使われる蛇の皮を持つ豆記者たち
田井等「新城工作所」にて取材

大西の元気伝えます
あけましておめでとうございませう。昨年創刊した「NKM(にしようカラハイ豆記者)新聞」の新年号をお届けします。NKM新聞は地域全体で子どもの成長を支えること

新年あけましておめでとうございます
もに、生まれ育った場所に愛着を持ち、将来の大西区を担う人材を育てることが目標です。ことしも豆記者が大西の元気、活力を取材します。皆さまのさらなる協力、理解をいただけるようお願いいたします。(区長・仲本兼仁)

線のすごさを知りました。三線は人の気持ちを明るくして笑顔になり、とても楽しくなります。そしてひいている方もとても楽しくなってくるので、三線はなくなったらだめだと思います。皮に使う「蛇」は一匹から2〜3個作れます。でも、蛇の皮はつかえると限られていることもわかりました。そしていらさないへびの皮をもらえませんでした。さおの形は、県で指定されている六つの形があり、まがび型、ユナー型、クバヌフーニー型、クバンユンデン型、チネンデーク型、フェーバラー型があります。頭の部分の反り具合や大きさが違います。色のそめ方は、昔はうるしで色をつけていたけど、今はほとんどの三線がウレタン塗料でぬつています。原料はクロキ、くわの木、さくらの木など作ったときに変形しなければどんな木でも作れます。でも、木の種類により音はかわります。弦はナイロンでできています。(6班7組・松田勇之心、大西区・前原叶夢、6班3組・山里将泰、6班4組・宮城基、8班4組・仲宗根鉄朗) 全員名護小6年生

昔の生活、方言に興味

「丘の一本松」子役で出演

私は、昨年11月3日に行われた大西区敬老会の劇「丘の一本松」に出演しました。なぜ私が劇に出たかと言うと、お母さんに「子役をしてみない」と言われたからです。初めは「えー」と思ったけど方言でのセリフと聞いたので挑戦してみようと思いました。今は、方言で話す人も少なく、あまり聞く事がありませんが、これをきっかけに昔の人の生活や方言にきょうみが出てきました。いろいろしらべたいと思います。大西げき団のみなさん楽しかったです。ありがとうございました。また、いつしよにやりたいです。



「老いては子にしたがえ・・・」

大人のみなさんは、一ヶ月前から毎日練習していました。私は、2週間前から週に3回ぐら夜の練習に参加しました。私のセリフは「ぬーが、先生がやーおとーていん勉強しんりいていーるむんなー」だけでしたが、おぼえるのが大変でした。でも、

私以外の人はたくさんあるセリフを方言で一生けん命しんけんにおぼえていました。私は、これだけのセリフをおぼえるためにおじいちゃんからも方言での言い方を習いました。英語みたいに難しかったです。いよいよ本番、公民館ホールはたくさんの方がいました。とてもみんな楽しかったです。でも、見ている人達が笑ったり、拍手をしたりしていたので「よ

時代で変わる台所

私たちの暮らしの変化は、食において顕著に表れます。たとえば、昭和の頃の台所と比べて見ると「かまど」から「キッチン」へと変わる過程には、台所の構造や電化への変化による家事労働の軽減だけでなく食生活の変化や薪炭から石油、ガスへの転換などのエネルギー変化までも見えてきます。

私は二回目となる学校での野外炊飯学習を通して、現在の台

所と比較することでガス、水、電気の大切さに気づかされました。

野外炊飯は、火をおこしてカ

暮らし、仕事体験に学ぶ

野外炊飯は、火をおこしてカ

し、がんばろー」と思いました。私のセリフはバッチリだった

と思います。みんなにも「上手だったよ」とほめられて、うれ

しかったです。 (2班2組・宮城麻都・小4)

(2班2組・宮



留学生が作った世界各国の料理を楽しむ大西区区民

おいしい世界料理 大西公民館で異文化交流会

12月8日に、大西こうみんかんでおこなわれた、いぶんかこうりゅう会に、かぞくでいきました。ペルーやアルゼンチンからきた人たちが、くのにしょうかいをしたり、おりょうりをふるまっていました。

カレーととうふはピリカラでした。でも、ペルーのカレーは、たまごがつかわれていて、とてもおいしかったです。めずらしいおりょうりをたべることができたので、さんかしてよかったです。 (8班4組・千葉成夏：小1)

働く喜びを実感

昨年11月26日から28日に「ケ

け大変で、努力が必要かという

ことがすぐくわかりました。私は10時から3時まででしたが、とてもキツかったです。大人が8時間も働くのは、すごいとおもい、親をみなおしました。

2つ目は、働く楽しさです。大変でもありましたがお客様に「ありがとう」といわれると、とてもうれしくなり、また、次

も学ぶことができました。この体験で2つ

私たちが作りました

- | | | | |
|----------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会員番号1 宮城周子
(6班4組名護中2年) | 会員番号2 宮城麻咲
(2班2組名護中1年) | 会員番号3 宮城葉
(6班4組名護小4年) | 会員番号4 千葉成南美
(8班4組名護小4年) |
| 会員番号5 本村莉瑠
(8班4組名護小4年) | 会員番号6 宮城麻都
(2班2組名護小4年) | 会員番号7 伊藤日和
(8班4組名護小4年) | 会員番号8 玉城りんの
(8班4組名護小4年) |
| 会員番号9 千葉せいか
(8班4組名護小1年) | 会員番号10 本村れね
(8班4組名護小1年) | 会員番号11 玉城つきの
(8班4組名護小1年) | 会員番号12 松田勇之進
(6班7組名護小6年) |
| 会員番号13 前原叶夢
(大中 名護小6年) | 会員番号14 山里将泰
(6班3組名護小6年) | 会員番号15 宮城基
(6班4組名護小6年) | 会員番号16 仲宗根鉄朗
(8班名護小6年) |

シリーズ「私と剣道」①

私は1年生から剣道をやっています。毎週2回、妹と母と剣道教室に通っています。剣道のことをもっと知りたいと思い、まず「歩み」について調べました。インターネットで調べると、武士たちが実戦に使っていた剣術が、時代の移り変わりに応じて形を変えながら明治維新や第二次世界大戦後の存続の危機を乗り越え、今日の剣道に至ることがわかりました。今回は、一緒に剣道をやっている祖父へのインタビューと剣道具や審査などについて紹介したいと思います。(8班4組・千葉成南美：小4)